



行き先や帰宅予定時間を家族等に伝える。

行き先が分からないと、遭難したときに捜索範囲を絞れず、救助活動に時間がかかります。

山奥に入らない。

山の中は多くの危険が潜んでいるので、慣れた山でも油断は禁物です。

自分の体力や体調、天候や日没時間に合わせた行動をしましょう。

単独入山を避ける。

万が一、山中で迷ったり、けがをした場合、一人では対処できないことがあるので、複数で行動しましょう。

また、山の中では絶えず声を掛け合い、お互いの位置を確認しましょう。

目立つ色の服装を着用する。

山中で遭難した場合、ヘリコプターが上空から捜索しますが、その際は赤色や白色系の服装が目立ちます。

携帯電話やホイッスルを携行する。

携帯電話があれば、非常時に救助要請することができます。

また、ホイッスルは体力の消耗を抑えて、周囲に自分の存在を知らせることができます。

令和7年4月
北海道警察函館方面本部